

教科・科目	公民・公共	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	2	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：現代社会				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、その概念と理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想する力を身に付ける。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	高等学校 新公共（第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、その概念と理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想する力を身に付けている。	現代の諸課題について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 公共の扉	・レポート	・レポート	・レポート
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・試験	・試験	・試験
	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち			
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第1編 公共の扉	・レポート	・レポート	・レポート
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・試験	・試験	・試験
	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち			
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生		登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S
前期	① 第1編 公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における基本的原理	前1	1	2	4/23	—	4/25	4/20	
	3		4						
	② 第2編 法や規範の意義と役割 司法参加の意義	前2	1	2	5/14	—	5/16	5/11	
	3		4						
	③ 第2編 政治参加と公正な世論形成 国際社会の変化と日本の役割	前3	1	2	5/28	—	5/30	5/25	
	3		4						
	④	この回は、実施されません。							
	⑤ 第2編 雇用と労働問題 財政の役割と社会保障	前4	1	2	6/25	—	6/27	6/22	
3	4								
⑥ 第2編 国際分業と貿易 国際社会における貧困と格差	前5	1	2	7/9	—	7/11	7/6		
3		4							
⑦ 第2編 地球環境問題 第3編 ケーススタディ	前6	1	2	7/23	—	7/25	7/20		
3		4							
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	—	8/22	8/17	
後期	⑧ 第1編 公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における基本的原理	後1	1	2	10/8	—	10/10	10/5	
	3		4						
	⑨ 第2編 法や規範の意義と役割 司法参加の意義	後2	1	2	10/22	—	10/24	10/19	
	3		4						
	⑩ 第2編 政治参加と公正な世論形成 国際社会の変化と日本の役割	後3	1	2	11/5	—	11/7	11/9	
	3		4						
	⑪	この回は、実施されません。							
	⑫ 第2編 雇用と労働問題 財政の役割と社会保障	後4	1	2	12/3	—	12/5	11/30	
3	4								
⑬ 第2編 国際分業と貿易 国際社会における貧困と格差	後5	1	2	12/17	—	12/19	12/14		
3		4							
⑭ 第2編 地球環境問題 第3編 ケーススタディ	後6	1	2	1/7	—	1/9	1/4		
3		4							
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	—	1/23	1/18	

6 先生からのメッセージ

理解を深めるために、できるだけ毎回のスクーリングに出席しましょう。公共の学習を通じて、自分自身の在り方や生き方、私たちが暮らす社会の在り方、政治・経済の動向、世界の動きなどに関心をもっていきましょう。分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。